

平成 29 年秋期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,12,20

10月15日(日)に行われた平成29年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

■応用情報技術者試験 (AP)

[平成29年秋期の応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	50,969人
受験者	33,104人
合格者	7,216人
合格率	21.8%

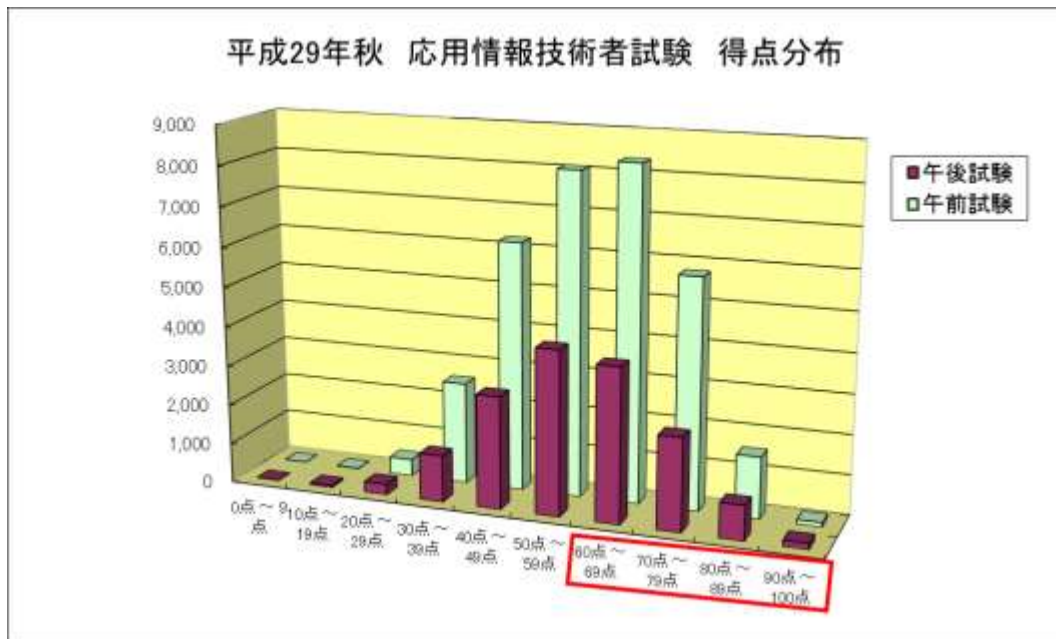
今回の応用情報技術者試験の合格率は21.8%で前回の20.2%よりも若干高い結果でした。平成27年秋期試験は23.4%という高い合格率でしたが、それ以後、今回も含めて20%を少し超える平均的な結果といえます。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成29年秋期 応用情報技術者試験 スコア分布]

平成29年秋 AP	応募者	受験者	合格者
人数	50,969	33,104	7,216
率		64.9%	21.8%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0点～9点	7	9	
10点～19点	12	55	
20点～29点	424	274	
30点～39点	2,568	1,179	
40点～49点	6,244	2,828	
50点～59点	8,084	4,121	
60点～69点	8,337	3,859	
70点～79点	5,768	2,328	
80点～89点	1,548	874	
90点～100点	112	155	
計	33,104	15,682	7,216
対前試験比率		47.4%	46.0%
合格者数	7,216	採点者数の割合	合格者数との差
午前60点以上合計	15,765	47.6%	8,549
午後60点以上合計	7,216	46.0%	0



今回の平成29年秋期の午前試験では合格基準点の60点以上の方が15,765人で受験者の47.6%でした。前回の試験は47.5%でやや低い結果でしたが、今回も同じ結果でした。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は7,216人で、採点数の46.0%にあたります。前回平成29年春期試験では42.6%だったので、若干上がっています。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が8,084人(受験者の24.4%)、午後試験で50点以上60点未満の人が4,121人(同26.3%)と、どちらも全体の約1/4の人があと10点で合格できるラインにいます。この方たちは合格まで“あと一歩”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

■平成29年秋期 応用情報技術者試験 出題内容について

(午前問題)

- ・ 午前試験問題はここ数年、少しずつ難しくなる傾向があります。今回、考察問題は減りましたが計算問題と用語問題が増え、全体としては前回と同様の難易度だったといえます。
- ・ 過去問題は全体の6割強で前回とほぼ同じです。また、応用情報技術者試験の過去問再出題は前回より5問少ない27問でした。高度試験の午前Ⅱからの出題もあり、情報セキュリティスペシャリスト試験から4問、エンベデッドシステムエンジニア試験、プロジェクトマネージャ試験、システムアーキテクト試験からそれぞれ2問ずつ、その他高度系試験から5問の出題があり、これらの問題は少し難しかったといえます。
- ・ 新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりで、前回よりも多くなっています。なお、他の試験で過去に出ているAP試験で初めて出題された問題も含めています。

問4 UTF-8の説明

問10 IoTで活用が検討されているLPWAの特徴

問12 仮想マシン環境を実現する制御機能

問16 タスクの状態遷移

問19 Hadoopの説明

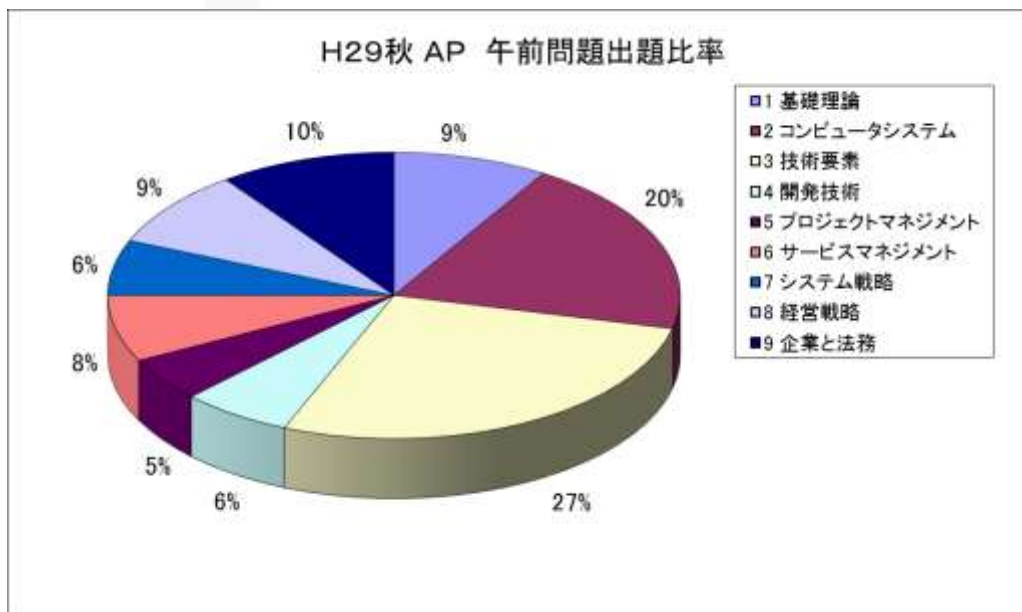
問23 指定された結果を出力する回路

問24 アクセシビリティ設計に関する規格の適用目的

- 問 29 待ちグラフにおける永久待ち状態のトランザクション
- 問 42 サイバーレスキュー隊（J-CRAT）の役割
- 問 48 回帰テストを行うアジャイル開発のプラクティス
- 問 50 バーンダウンチャート
- 問 53 プレシデンスダイアグラムからアローダイアグラムへの書直し
- 問 57 空調計画における“伝熱負荷”の軽減策
- 問 65 情報システムの開発で多段階契約を採用する目的
- 問 69 国際基準に適合した製品を製造及び販売する利点
- 問 71 無人航空機に搭載される姿勢制御のためのセンサ
- 問 72 IoT 技術のエッジコンピューティングの説明
- 問 79 マイナンバー法におけるマイナンバーの説明

- ・ 今回の問題内容で特徴的なことは、考察問題が（前回）21問→（今回）11問とかなり減っていますが、計算問題は（前回）5問→（今回）11問と倍以上になっていることです。なお、文章問題は44問→42問、用語問題は10問→16問で用語問題が多くなっています。

平成 29 年秋期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

今回出題された問題は、問 5 のネットワーク、問 11 のシステム監査の問題がやや難でしたが、問 3 のプログラミングの内容はアルゴリズムとしては有名なナップザック問題で、多くの人にとっては身近でない題材でしたが設問自体は解答しやすかったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるように、しっかり演習を行う必要があります。

- 問 1 個人情報保護の強化（情報セキュリティ）
- 問 2 電子部品会社の経営戦略（経営戦略）
- 問 3 ナップザック問題（プログラミング）
- 問 4 WebAPI の設計（システムアーキテクチャ）
- 問 5 SDN を利用したネットワーク設計（ネットワーク）
- 問 6 青果卸売業の取引システム改修（データベース）

- 問7 ドライブレコーダ (組込みシステム開発)
- 問8 ソフトウェア適格性確認テスト (情報システム開発)
- 問9 ERP パッケージのベンダ選定 (プロジェクトマネジメント)
- 問10 サービスデスク (サービスマネジメント)
- 問11 受発注業務に関わるシステムの監査 (システム監査)

